

子どもの予防接種最新事情



東京女子医科大学八千代医療センター
発達小児科 林 北見



子どもたちは生後6ヶ月を過ぎる頃から熱を出すことが増えてきます。2-3歳頃に保育園、幼稚園に通うようになると、毎月のように熱を出すこともあります。その原因の多くはウイルス感染症ですが、中耳炎や肺炎を起こす細菌感染症も子どもたちにはよく見られます。

予防接種について

予防接種はそれらの感染症を予防するために行いますが、種類はたかだか10種類程度です。数多くの感染症があるなかで、なぜそのワクチンを接種する必要があるのでしょうか？ 一つ一つのワクチンによってその理由は異なります。「接種する決まりになっているから」、ということとは別に、ワクチンを接種する理由を知っておくことで、適切な時期に適切なワクチン接種を行うことができます。

胎内で母からもらった免疫は生後6ヶ月を過ぎる頃にはなくなってしまいます。新たな免疫を自分の力で作る必要がありますが、そのためにはいったん感染を受ける（病気にかかる）必要があります。例えば、はしかの免疫ははしかに罹らないと自分でつくることはできません。従って、重症になることが予測される病気については、人為的に免疫をつくることで予防をする必要があります。

◎ワクチンの種類と体への作用

ワクチンは「生ワクチン」と「不活化ワクチン」に分けられます。はしかワクチンは「生ワクチン」であり、生きている（ヒトに感染する力はある）けれど病気を起こす力の弱いはしかウイルスを接種するものです。ごく軽いはしかに罹ることによって自分で免疫を作り、病気を起こす力の強い自然のウイルスには罹らないようにする、と言い換えることもできます。多くの子どもでは何も症状は出ませんが、接種から1-2週間たってから発熱や軽い発疹がでることがあります。これはごく軽いはしかに罹っているためにでた症状と考えられますが、他の子どもにうつすことはありません。

日本脳炎やDPT三種混合ワクチンは「不活化ワクチン」であり、生きているウイルスや細菌を接種するのではなく、ヒトに感染する力を無くした（不活化）ウイルスや細菌の一部を取り出して接種します。その刺激によって自然のウイルスや細菌毒素を中和する免疫を自分でつくります。



東京女子医科大学

八千代医療センター

TOKYO WOMEN'S MEDICAL UNIVERSITY YACHIYO MEDICAL CENTER

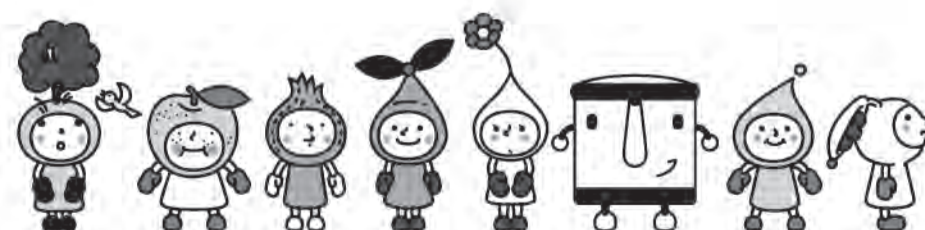


◎はしかワクチンを2回接種するようになりました。

予防接種によって作られた免疫は、病気に罹ることによって作られた免疫とくらべて力が弱く、その効果を長く維持することができません。以前は自然のはしかに罹る子どもも多く、集団生活の中ではしかに接触する機会がありました。自然のウイルスに接触した結果、ワクチンで作られた免疫が強められ、効果が維持されていました。現在ははしかの流行が減少したために、自然のウイルスに接触する機会が減少しています。結果としてワクチンによる免疫が低下し、中学や高校生になる頃には感染を防ぐ力が無くなり、実際にはしかに罹ってしまう子どもが増えています。はしかは高熱が続くだけでなく、肺炎や脳炎を起こすことがあり、現在でも一年間に数十人の子どもが亡くなっている重大な病気です。このようなことを防ぐためには最初のワクチン接種から期間をおいて追加のワクチン接種をすることが必要です。このような事情があり、昨年4月からは小学校入学前に、今年の4月から中学生や高校生にも2回目のワクチン接種することが始まりました。2回の接種をすることで免疫力を維持して病気に罹ることが減り、結果としてはしかの流行そのものが無くなることが期待されます。

◎インフルエンザ菌にたいするワクチンが新しく始まります。

胎内は無菌状態であるため、出生したばかりの赤ちゃんの咽や鼻には細菌がついていません。出生後の環境の中で様々な細菌が体につきますが、その一部には重大な感染症を起こす細菌があります。インフルエンザ菌（冬に流行するインフルエンザのウイルスとは別のものです）は肺炎や中耳炎の原因になる細菌ですが、乳幼児期には細菌性髄膜炎（脳や脊髄を覆っている膜に感染をおこす）の原因ともなり、その感染によってけいれんや麻痺、知能障害を残すことがあります。日本にはこの感染症を予防するワクチンがありませんでしたが、世界的には10年以上前からインフルエンザ菌に対してワクチン接種が行われており、髄膜炎を含む重大な感染症が激減しています。日本でもようやくワクチンが認可され、個別接種が始まる見通しが立ちました。



東京女子医科大学

八千代医療センター

TOKYO WOMEN'S MEDICAL UNIVERSITY YACHIYO MEDICAL CENTER

